

2025年3月期 環境会計

対象期間 : 2024年4月1日～2025年3月31日
 対象範囲 : 滋賀銀行（単体）
 集計方法 : 環境省「環境会計ガイドライン（2005年版）」に準拠。

総括

(1)環境保全コスト

- ・投資額: 店舗照明のLED切替を順次実施。
- ・費用額: EV/HV切り替え推進に伴い、エコリース料が増加。

(2)環境保全効果

- ・2023年度分より算定を開始した投融資を通じた排出量(ファイナンスド・エミッション)に住宅ローンを追加。
- ・前年度に取り扱いを開始した「スーパー住宅ローン未来よし」は、1,477件の実行と堅調に推移。
- ・EV/HVへの切替を進め、約5割の切替を完了。

(3)環境保全対策に伴う経済効果

- ・ストラクチャードファイナンスの残高増加に伴い、資金利益増加。
- ・住宅ローン手数料の集計方法変更に伴い、「その他環境関連収益」が10億円減少。
スーパー住宅ローン未来よしの実行件数は堅調に推移しており、減少は集計方法の変更によるもの。

(1)環境保全コスト

当行が環境保全対策を実施するにあたって投入するモノ（財・サービス）やヒト（労力）の対価。
 （環境関連の投資・費用を貨幣単位で測定可能なもの）

<2025年3月期の実績>

（単位：百万円）

	投資	費用	おもな内容
(1) 事業エリアコスト	54	197	
(1)-1 公害防止コスト		0	地下重油タンク等検査
(1)-2 地球環境保全コスト	54	153	投資：LED照明切替工事、費用：エコカーリース
(1)-3 資源循環コスト		44	一般廃棄物・産業廃棄物の処理
(2) 上・下流コスト		6	再生紙破碎、リサイクル費用
(3) 管理活動コスト		127	過去投資分減価償却費等
(4) 研究開発コスト		0	環境保全に資する会費、研究コスト
(5) 社会活動コスト		0	環境保全を行う団体に対する寄付
合計	54	330	

<これまでの推移>

分類	投資額（百万円）							費用額（百万円）						
	2019.3	2020.3	2021.3	2022.3	2023.3	2024.3	2025.3	2019.3	2020.3	2021.3	2022.3	2023.3	2024.3	2025.3
公害防止コスト								2	1	1	1	0	0	0
地球環境保全コスト	36	13	26	3	121	43	54	121	122	118	116	129	132	153
資源循環コスト								26	54	24	20	25	34	44
上・下流コスト								5	5	6	6	6	6	6
管理活動コスト								113	100	92	91	111	133	127
研究開発コスト								2	2	2	3	4	5	0
社会活動コスト								3	3	3	3	4	3	0
合計	36	13	26	3	121	43	54	273	287	245	239	279	313	330

↓

おもな投資額（百万円）	
LED照明切替工事	54

↓

おもな費用額（百万円）	
エコカーリース	147
人件費	0
環境設備の減価償却費	41
産業廃棄物処理	33
環境情報開示	0

(2) 環境保全効果

当行の環境保全の推進により得られるCO₂排出量削減等の「環境パフォーマンス指標」の改善。

(環境パフォーマンス指標：物量単位で測定可能なもの)

<2025年3月期の実績>

環境保全効果分類		環境パフォーマンス指標 (単位)		2023. 3	2024. 3	2025. 3	前年比	
定型項目	事業活動に投入したエネルギー量 (インプット)	電力使用量 (kWh)		13,737,954	13,403,105	13,383,977	▲ 19,128	
		都市ガス (m ³)		22,494	23,659	27,119	3,460	
		LPGガス (m ³)		98	84	81	▲ 3	
		上下水道 (m ³)		69,248	71,142	69,600	▲ 1,543	
		ガソリン (注入量・kℓ)		211	208	198	▲ 9	
		重油 (注入量・kℓ)		2	0	0	0	
		軽油 (注入量・kℓ)		2	4	4	0	
定型項目	事業活動から排出する環境負荷に関する環境保全効果 (アウトプット)	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	Scope1+Scope2	3,069	4,009	3,879	▲ 130	
			Scope3	算定なし	16,480,774	18,063,664	—	
独自項目	事業活動から算出する財・サービスに関する環境保全効果	太陽光発電システム導入資金 (累計件数)		460	475	486	11	
		未来よし+を通じたクレジット購入 (t)		30	100	135	35	
		ニゴロブナ・ワタカ放流事業 (累計匹数)		763,000	783,000	803,000	20,000	
		植樹活動 (累計本数)		21,874	21,874	21,874	0	
		営業用車両に占めるHV/EVの割合 (%)		2.9%	30.3%	51.4%	+21.1P	
		コピー紙使用量 (A4換算・千枚)		29,250	25,042	23,227	▲ 1,815	
	独自項目	環境対応型金融商品による地域への環境保全活動	環境対応型融資商品の残高 (百万円)		370,435	422,959	479,518	56,558
			環境対応型融資商品による金利優遇額 (百万円)		1,030	1,074	1,062	▲ 12
			エコ&耐震住宅ローン実行 (累計件数)		13,452	13,452	13,452	0
			スーパー住宅ローン未来よし (累計件数)		—	1,680	3,157	1,477
			ESG評価制度の累計実施先数 (先)		348	455	583	128
			SDGsコンサルティング累計契約件数 (件)		165	183	205	22
			サステナブル評価融資累計実行件数 (件) ※1		71	89	116	27
カーボネutralローン未来よし累計実行件数 (件)		44	68	83	15			

※1 資金使途が環境関連のもの、およびSPTs等の目標が環境関連のものを計上

(3) 環境保全対策に伴う経済効果

環境金融等による環境保全対策の結果、当行の経済的利益やコスト削減に貢献した環境経済効果。

(収益・費用削減を貨幣単位で測定可能なもの)

<環境関連収益の推移>

(単位:百万円)

効果内容	具体的な取組	2007.3	2008.3	2009.3	2010.3	2011.3	2012.3	2013.3	2014.3	2015.3	2016.3
収益	①環境融資商品の資金利益	▲ 39	▲ 101	33	314	454	469	367	339	313	322
	②エコ関連ファンド販売手数料	1	44	5	4	8	5	1	1	1	0
	③その他環境関連収益	0	1	0	0	6	9	12	47	48	50
費用削減	④エネルギー費用の削減	13	▲ 36	14	32	8	21	16	▲ 52	28	30
合計		▲ 25	▲ 92	52	350	476	504	396	336	390	402

効果内容	具体的な取組	2017.3	2018.3	2019.3	2020.3	2021.3	2022.3	2023.3	2024.3	2025.3
収益	①環境融資商品の資金利益	331	315	232	206	611	523	488	642	957
	②エコ関連ファンド販売手数料	0	0	0	0	0	0	10	4	1
	③その他環境関連収益	101	141	153	163	243	251	350	1,244	250
費用削減	④エネルギー費用の削減	34	1	73	5	23	▲ 21	▲ 95	12	▲ 43
合計		466	457	458	374	877	753	753	1,902	1,165

収益効果に関する注記

<環境関連収益の推移>

「③その他環境関連収益」の低下要因：住宅ローン取り扱い手数料の集計方法の変更により減少。

<環境対応型融資商品の残高・資金利益推移>

「①環境融資商品の資金利益」の増加要因：ストラクチャードファイナンスの残高増加。

<環境対応型融資商品の残高・資金利益推移>

(単位：百万円)

環境対応型融資商品の残高・資金利益	年度末残高推移								資金利益推移 ※8							
	2018.3	2019.3	2020.3	2021.3	2022.3	2023.3	2024.3	2025.3	2018.3	2019.3	2020.3	2021.3	2022.3	2023.3	2024.3	2025.3
PLB、未来よし※1	2,632	1,653	945	570	560	2,197	2,586	4,083	25	20	13	8	5	4	8	12
太陽光発電導入※2	28,989	28,344	26,341	25,070	23,569	24,549	21,222	15,204	69	69	66	94	78	46	62	84
未来の芽※3	16	8	8	7	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日銀ファンド	2,303	—	—	—	0	—	—	—	▲ 17	▲ 11	—	—	—	—	—	—
滋賀県制度すいしん	1,346	1,153	936	668	478	328	248	205	3	3	2	3	2	1	1	1
エコアパートローン	23,041	28,785	33,944	40,006	45,385	49,636	51,179	50,952	43	43	47	103	98	54	93	106
NB資金(SDGs)※4	40	173	366	479	412	347	247	205	0	0	0	2	2	1	1	1
サステナブル評価融資※5	—	—	—	6,750	6,686	18,063	29,162	33,097	—	—	—	7	▲ 6	▲ 10	▲ 6	34
ストファイ※6	460	1,271	4,112	15,400	26,479	52,555	63,710	83,808	3	25	49	138	182	495	541	858
事業性 小計	58,827	61,388	66,653	88,950	103,578	147,674	168,354	187,556	126	148	177	356	362	591	700	1,096
環境住宅ローン※7	161,076	183,290	192,605	206,248	213,771	222,670	254,538	291,911	180	77	23	251	158	▲ 104	▲ 59	▲ 140
リフォーム(エコ耐震)	325	251	196	149	113	85	64	50	6	5	4	3	2	1	1	1
目的ローン(エコ)	109	73	43	24	13	7	4	1	2	2	1	1	0	0	0	0
消費者向け 小計	161,510	183,615	192,843	206,420	213,897	222,761	254,606	291,962	189	84	28	255	161	▲ 103	▲ 58	▲ 139
合計	220,337	245,002	259,496	295,370	317,474	370,435	422,959	479,518	315	232	206	611	523	488	642	957

※1 2015年3月に取扱終了した「カーボンニュートラルローン未来よし」を2021年11月より取扱再開。

※2 「固定価格買取制度(2012年7月)」実施により、2013年3月期から太陽光発電導入資金を計上。

※3 「カーボンオフセット定期預金『未来の種』(2008年~2012年の5年間の定期預金)」を原資に「事業者向け環境配慮型融資『未来の芽』」を実施。現在、取扱終了。残高を計上。(「未来の種」当初60億円)

※4 2018年3月期よりNB資金(SDGsプラン)のうち環境関連事業分を計上。

※5 2021年3月期より「『しがぎん』サステナブル評価融資」を計上。

※6 2021年3月期より、ストラクチャードファイナンス(環境関連分)を計算対象に加え、過去実行分に遡って計上。

※7 省エネ住宅の増加により、「エコ&耐震住宅ローン」の抽出基準を2012年度から一部見直し、特定のハウスメーカー分を追加計上。

※8 2024年3月期より、資金利益の計算に用いる資金調達原価を「全店分→国内店ベース」に変更。

以上